

市 貝

入野いりの

まさあき
正明 町長



市貝町は、日本一、サシバに選ばれた生態系豊かな町です。人間にも選ばれる安らぎと癒やしの町にならなければなりません。

市貝町は、大和朝廷の軍事拠点が置かれるなど早くから文明が開きました。それから、作物を育み刈り取るという人の営みの中で、サシバが何千年も命をつないできた歴史と、養育に必要なエサを供給し続けてきた谷津田が、安全な農法で今でもしっかりと守られているということを知ってもらいたいことが不可欠です。

さらにサシバの子育てを優しく見守るまじめな住人が関わっているという歴史、空聞、人の三位一体で地域ブランドを紡いでまいりたいと思います。希望は日本・世界農業遺産になることです。

芳 賀

けんもく
見目



町の目指す将来像「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」の実現に向けた第6次芳賀町振興計画は、本年度3年目を迎えます。引き続き都市基盤分野を中心に積極的な事業の展開を図ります。

都市基盤を中心に事業

LRT事業は、宇都宮市と連携し、軌道工事施行認可可らびに都市計画事業認可の取得を目指し、工事着手に向けて取り組みを推進します。旧芳賀高校跡地に造成中の相陽が丘住宅団地は、平成31年の分譲開始を目指しインフラ整備を進めます。さらに、新産業団地の整備は、県の支援を頂きながら、各種調査測量を行うなど事業の加速化を図ります。

ただし
匡 町長

壬 生

こすけ
小菅 一弥 町長



昨年、各小中学校をはじめ町内14カ所にボルダリングウォール（人工壁）を整備しますとともに、地域の活性化と知名度アップを図るため「壬生町ならではの逸品づくりプロジェクト」として、地元壬生産の酒米を使用した地酒の製造に取り組んだところです。

進化続けるまち目指す

さらには、現役場庁舎の老朽化を踏まえ、新たな庁舎の整備に着手いたしました。整備に当たっては、多くの皆さまのご意見などを頂きながら、災害時における防災拠点として50年先の将来を見据え、地域振興の拠点となるよう整備を進めてまいります。今年もさまざまな事業を通して、「進化を続ける元気なまち」を目指し、町一丸となつてまちづくりに取り組んでまいります。

野 木

ませ
真瀬 宏子 町長



昨年は国指定重要文化財「野木町煉瓦窯」とラムサール条約登録湿地「渡良瀬遊水地」の「谷中湖」が「野木町煉瓦窯&ハート池」の名称で「恋人の聖地」に認定されたことで、若者にもアピールできる材料が一つ増えました。

ワンストップ相談 準備

これを契機に、町を代表する夏のイベント「ひまわりフェスティバル」と共に町の認知度アップを加速させます。また野木町では引き続き「安全安心のまちづくり」「少子高齢化対策」「町の活性化策」の三つの重点施策を推進してまいります。特に、結婚・子育て・介護障がい等をワンストップサービスで相談可能とするため、本年は「総合サポートセンター」の開設に向けて準備を進めます。